

生きづらさの中を生きる (全8回木曜日)

現代を生きる私たちの身近な問題である心の病、ジェンダー、看取り、虐待、ひきこもりなどライフステージにおいての多方面の問題を取り上げました。あなたのまわりの戸惑いや疑問をご一緒に考えていきましょう。身近な方との関わりにきつとお役に立つことと思います。6回以上出席されますと養成講座の受講手続きにつながります。電話相談員となって自殺をはじめ生きづらさの問題をかけてこられる方々の良き聴き手として一緒に活動しませんか。皆様のご受講をお待ちしております。

日 時：6月3日～7月15日 毎木曜日 18時30分～20時30分

7月22日 10時～12時

会 場：神戸市立総合福祉センターを予定 神戸市中央区橋通3-4-1 (地図 裏面)

阪神・阪急「高速神戸駅」から北へ徒歩2分、JR「神戸駅」から徒歩7分

神戸市営地下鉄「大倉山駅」から5分

定 員：80名

申し込み：電話・FAX・郵便・メール等でお申し込みと同時に下記の口座にお振込みください。

ご入金と同時に確約となりますので受講日に振込み控えをお持ちください。講座会場など変更がある場合のみご連絡をいたします。申し込み書は裏面にあります。

受講料：1回につき1,000円 事前一括申し込み5,000円(最大3,000円割引になります)

振込口座：郵便振替 00950-1-189609 社会福祉法人 神戸いのちの電話

※6月10日藤井先生の講義は、リモート講座になります

	月 日	講座名 (テーマ)	講 師 名
①	6月3日	ターミナルケア「看取るとは」	関本雅子 (関本クリニック理事長)
②	6月10日	寄り添いに求められるもの (リモート講座)	藤井美和 (関西学院大学人間福祉学部教授)
③	6月17日	こころの病について	井出 浩 (浅野神経内科クリニック 精神科医)
④	6月24日	家族の始まりを支える -多様な家族に寄り添う支援とは-	岡田由美子 (加古川中央市民病院小児科 公認心理師 臨床心理士)
⑤	7月1日	今、ジェンダー (性) の 抱える問題とは	川喜田好恵 (認定フェミニストカウンセラー)
⑥	7月8日	虐待、その関係性へのおもい -見えにくい生きづらさのなかで-	南部真理子 (神戸芸術工科大学 臨床心理士)
⑦	7月15日	ストレスとPTSDのケア	大塚美菜子 (臨床心理士・公認心理師)
⑧	7月22日	人生における危機とその対応	白石大介 (武庫川女子大学名誉教授)

【申し込み・問い合わせ】 社会福祉法人 神戸いのちの電話

〒650-8691 神戸支店郵便私書箱1103号 Tel 078-371-4405/Fax 078-371-4355

E-mail: kind4343@viola.ocn.ne.jp URL: <http://kobe-lifeline.org>

【後援】 兵庫県 兵庫県教育委員会 ひょうごボランティアプラザ 神戸市 神戸市教育委員会
神戸市社会福祉協議会 こうべ市民福祉振興協会 NHK 神戸放送局 サンテレビジョン 朝日新聞神戸
総局 神戸新聞社 JR西日本あんしん社会財団 コープこうべ 神戸YMCA 神戸YWCA

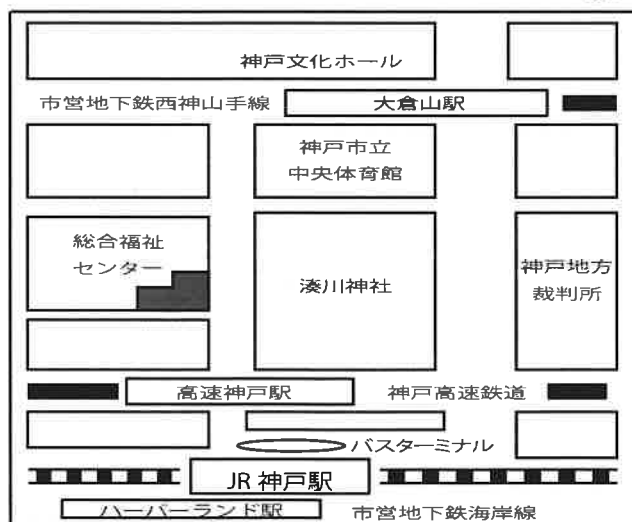
2021 年度 公開講座 申込書

回	月 日	テーマ	申込み	金額
①	6月 3日	ターミナルケア「看取る」とは		
②	6月10日	寄り添いに求められるもの		
③	6月17日	心の病について		
④	6月24日	家族の始まりを支える		
⑤	7月 1日	今、ジェンダー（性）の抱える問題とは		
⑥	7月 8日	虐待、その関係性へのおもい		
⑦	7月15日	ストレスとPTSDのケア		
⑧	7月22日	人生における危機とその対応		
		合計	回	円

受講料 1回1,000円 事前一括申し込みの場合 5,000円

ふりがな	
氏 名	
住 所 〒	
電話番号（携帯番号）	FAX 番号

【 会場 】 神戸市立総合福祉センター（中央区橘通3-4-1）



☆感染症対策とお願い

- ・マスクの着用をおねがいします。
- ・会場受付前に、消毒用アルコールを設置し、検温を実施します。
- ・ソーシャルディスタンスに配慮して、席を配置し、換気のための時間を設けます。
- ・風邪様症状のある方、体調のすぐれない方は、当日受講をご遠慮いただきます。